

出願期間	12/8(火)~1/10(日)		募集人員	100名	乗り換え表	余裕を持った行動を！
一次試験	試験日	理科	数学	英語	:	自宅出発
	1/23(土)	マーク	マーク	マーク	:	最寄り 駅
	合格最低点	合格最高点	一次試験合格発表	志願者一次合格倍率	↓	
	未発表	未発表	1/29(金)	2.99倍	7:40	
教科	科目				時間	配点
数学	「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B」				9:30~10:40 (70分)	100点
英語	「コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「英語表現Ⅰ・Ⅱ」				11:40~12:50 (70分)	100点
理科	「物理基礎、物理(「原子」は除く)」「化学基礎、化学(「高分子化合物の性質と利用」は除く)」「生物基礎、生物(「生態と環境」「生物の進化と系統」は除く)」から2科目選択				13:50~15:50 (120分)	100点×2
科目	ワンポイントアドバイス					
化学	今回の入試では合成高分子は出題されない。化学者名や原子番号など、細かいところの出題も見られるので、図録や教科書を確認しておきましょう。					
物理	取り組みやすい年もあるが、年により難易度が安定していないので、難しい問題に出くわしたと感じたときは捨てる勇気も必要。過去には自己(予備校)採点30点程で特待合格者も。					
生物	細胞、遺伝情報、動物の反応からの出題が多い。遺伝情報(バイオテクノロジー中心)は毎年出題されており、グラフなどのデータを正確に読み取らなければならない。					
数学	昨年度は難しかった。大問3題で70分のため1問に時間をかけて考えられる。昨年度は難しすぎたが、例年は半分取れていれば勝負になる。					
英語	内容一致は実質2択であり差がつかない。下線部と空所の前後を精読して点を拾おう。					